

2 ごみ排出量及びごみ処理の実績

(1) ごみの種類別排出量

①ごみ排出量

- ・総排出量は、平成 23 年度以降微減傾向にあり、令和 2 年度は 5,511t/年。
- ・収集ごみ量と直接搬入ごみ量の比率は、令和 2 年度は、収集 71.0%、直接搬入 20.6%（集団回収 8.4%）となっており、それぞれ一般家庭ごみ、事業系ごみ（持込み）が最も多くなっている。集団回収量についても減少傾向にある。
- ・平成 26 年 10 月から、その他プラの分別を開始し、繊維ごみの収集を取り止めた。

ごみ排出量の推移

項 目		単 位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	
人 口		人	17,306	17,226	17,144	17,066	16,895	
収 集	可燃ごみ	一般家庭ごみ	t/年	3,453	3,443	3,301	3,107	3,057
	粗大ごみ	可燃物	t/年	306	309	361	366	409
		不燃物	t/年	3	2	5	14	1
	資源ごみ	資源ごみ(缶・ビン)	t/年	225	217	222	194	197
		ペットボトル	t/年	46	48	57	54	55
		その他プラ	t/年	147	154	165	173	185
	繊維ごみ	事業系ごみ(収集)	t/年	0	12	12	10	7
(計)		t/年	4,180	4,185	4,123	3,918	3,911	
直 接 搬 入	し尿残渣	し渣	t/年	6	0	0	0	0
		汚泥	t/年	44	0	0	0	0
	事業系ごみ	事業系ごみ(持込)	t/年	513	451	471	479	460
		商店ゴミ	t/年	345	352	357	385	362
	公共施設	施設のごみ	t/年	105	104	113	118	121
	清掃、不法投棄	その他	t/年	220	224	200	216	191
(計)		t/年	1,233	1,131	1,141	1,198	1,134	
集団回収	古紙・古布	t/年	576	573	544	516	466	
総排出量		t/年	5,989	5,889	5,808	5,632	5,511	
1人当たりの ごみ排出量		kg/年	346.1	341.9	338.8	330.0	326.2	
1人1日当たりの ごみ排出量		g/日	948.2	936.7	928.2	904.1	893.7	

②ごみ原単位の推移

・ごみ排出量は人口の推移に大きく影響されるため、収集ごみ（事業系を除く）及び集団回収であれば人口1人1日当たりの平均排出量、直接搬入ごみ及び事業系ごみ（収集）であれば1日当たりの平均排出量を指標とし、これらを「原単位」と呼ぶ。それぞれの算出方法は、次のとおりです。

- ・収集ごみ原単位（g/人・日）＝収集ごみ排出量（t/年）÷人口÷365日×10⁶
- ・直接搬入ごみ原単位（t/日）＝直接搬入ごみ排出量（t/年）÷365日
- ・集団回収原単位（g/人・日）＝集団回収量（t/年）÷人口÷365日×10⁶
- ・総排出原単位（g/人・日）＝総排出量（t/年）÷人口÷365日×10⁶

ごみ原単位の推移

項目		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
人口		人	17,306	17,226	17,144	17,066	16,895	
収集	可燃ごみ	一般家庭ごみ	g/人・日	546.6	547.6	527.5	498.8	495.7
		粗大ごみ	可燃物	g/人・日	48.4	49.1	57.7	58.8
	不燃物		g/人・日	0.5	0.3	0.8	2.2	0.2
	資源ごみ	資源ごみ（缶・ビン）	g/人・日	35.6	34.5	35.5	31.1	31.9
		ペットボトル	g/人・日	7.3	7.6	9.1	8.7	8.9
		その他プラ	g/人・日	23.3	24.5	26.4	27.8	30.0
	繊維ごみ	事業系ごみ（収集）	t/日	0.00	0.03	0.03	0.03	0.02
			g/人・日	0.0	1.9	1.9	1.6	1.1
	（計）		g/人・日	661.7	665.6	658.9	629.0	634.2
	直接搬入	し尿残渣	し渣	t/日	0.02	0.00	0.00	0.00
g/人・日				0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
汚泥			t/日	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00
			g/人・日	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業系ごみ		事業系ごみ（持込）	t/日	1.41	1.24	1.29	1.31	1.26
			g/人・日	81.2	71.7	75.3	76.9	74.6
		商店ゴミ	t/日	0.95	0.96	0.98	1.05	0.99
			g/人・日	54.6	56.0	57.1	61.8	58.7
公共施設		施設のごみ	t/日	0.29	0.28	0.31	0.32	0.33
			g/人・日	16.6	0.3	0.3	0.3	0.3
清掃、不法投棄		その他	t/日	0.6	0.61	0.55	0.59	0.52
			g/人・日	34.8	35.6	32.0	34.7	31.0
			（計）	t/日	3.4	3.1	3.1	3.3
		g/人・日	195.2	179.9	182.3	192.3	183.9	
集団回収	古紙・古布	g/人・日	91.2	91.1	86.9	82.8	75.6	
総排出量		g/人・日	948.1	936.6	928.2	904.1	893.7	

(2) 中間処理量

①焼却処理量と減容化量

- ・ごみ総排出量の減少に伴い、焼却処理量も減少している。

ごみ総排出量

項目	単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
ごみ総排出量	t/年	5,989	5,889	5,808	5,632	5,511

焼却処理量と減容化量の推移

	項目	単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
直接 焼却	一般家庭ごみ	t /年	3,453	3,443	3,301	3,107	3,057
	し渣	t /年	6	0	0	0	0
	汚泥	t /年	44	0	0	0	0
	商店ごみ	t /年	345	352	357	385	362
	(計)	t /年	3,848	3,795	3,658	3,492	3,419
処理後 焼却	粗大ごみ (可燃物)	t /年	306	309	361	366	409
	事業系ごみ (持込)	t /年	513	451	471	479	460
	施設のごみ	t /年	105	104	113	118	121
	ペットボトルの可燃物	t /年	23	24	28	27	27
	その他の可燃物	t /年	211	215	192	207	183
	(計)	t /年	1,158	1,103	1,165	1,197	1,200
クリーンセンター焼却量		t /年	5,006	4,898	4,823	4,689	4,619
焼却 残渣	焼却灰	t /年	383	433	388	399	346
	不燃物	t /年	204	181	210	200	208
	(計)	t /年	587	614	598	599	554
減容化量		t /年	4,419	4,284	4,225	4,090	4,065
減容化率		%	73.8	72.7	72.7	72.6	73.8

※減容化量 = クリーンセンター焼却量 - 焼却残渣

※減容化率 = 減容化量 ÷ ごみ総排出量

②資源化量

- ・資源化量は平成 26 年度まで微減で推移していたが、平成 26 年 10 月から開始した廃プラの分別により平成 27 年度以降は増加している。
- ・資源化率はごみ総排出量が減少傾向にあるが、ほぼ横ばいで推移しています。

資源化量の推移

項目		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
資源ごみ (缶・瓶)	スチール缶	t/年	40	36	32	28	26
	アルミ缶	t/年	7	7	6	6	8
	ビン (カレット、青)	t/年	12	14	10	0	0
	ビン (カレット、白)	t/年	51	47	34	22	24
	ビン (カレット、茶)	t/年	45	48	32	25	24
	選別後ガラス	t/年	78	74	101	92	91
	ガラス・瓶屑	t/年	38	36	42	71	74
ペット	ペットボトル	t/年	33	26	28	24	20
廃プラ	廃プラ	t/年	150	159	165	172	180
粗大ごみ	粗大鉄くず	t/年	76	74	91	102	108
	新聞	t/年	1	1	1	1	1
	雑誌		6	3	6	5	4
	段ボール	t/年	10	8	9	10	13
繊維ごみ	繊維ごみ	t/年	552	546	569	526	475
集団回収	古紙・古布	t/年	576	573	544	516	466
資源化量合計		t/年	1,675	1,652	1,670	1,600	1,514
資源化率		%	28.0	28.1	28.8	28.4	27.5

※資源化率 = 資源化量合計 ÷ ごみ総排出量

(3) 最終処分量

ごみ総排出量の減少に伴い、最終処分量も減少しています。過去5年間で見ると、最終処分率は9.8～10.4%となっています。

最終処分量の推移

項目		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
焼却残渣	焼却灰	t/年	383	433	388	399	346
	不燃物	t/年	204	181	210	200	208
最終処分量		t/年	587	614	598	599	554
最終処分率		%	9.8	10.4	10.3	10.6	10.1

※最終処分量＝焼却灰＋不燃物

※最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量

(4) ごみの組成調査

本町では、ごみ質やごみの排出実態・排出量の動向を把握する基礎資料を得るため、平成28年度に、もえるごみを対象とし、夏冬2回ごみ組成分析調査を行ったが、それ以降は、実施されていない。

その時の調査結果は、夏冬2回の結果を平均すると、「厨芥類」が最も多く38.4%であり、次いで「紙類」が32.2%、「プラ類」が14.9%が続いている。また、夏季と冬季との結果は概ね同様の傾向が示されているが、繊維類については夏季に比べ冬季に大きく減少している。

(5) ごみの性状

焼却施設に搬入された可燃ごみの性状は年4回分析しており、分析項目はごみの種類別組成、単位体積重量、低位発熱量、三成分となっている。

可燃ごみの組成分析

	項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
種類別組成	紙類	%	49.5	43.4	41.4	32.4	28.3
	布類	%	2.9	4.9	3.3	4.0	2.9
	ビニル・合成樹脂・ゴム・皮革類	%	21.2	21.7	21.4	24.5	26.3
	木・竹・わら類	%	14.8	13.8	19.0	13.7	16.1
	厨芥類	%	7.2	12.2	8.2	14.2	13.9
	不燃物	%	2.7	2.3	2.5	2.7	4.8
	その他	%	1.6	1.7	4.1	8.4	7.7
単位体積重量		kg/m ³	133	145	151	162	153
低位発熱量		kJ/kg	8,225	7,410	8,090	7,075	6,843
三成分	水分	%	44.0	49.4	45.2	48.5	48.2
	灰分	%	6.5	4.6	5.8	7.5	9.1
	可燃分	%	49.5	45.9	49.0	44.0	42.8

※年平均値を示す。

ごみの種類別組成は、過去5年間を通して「紙類」が最も多く、全体の40%程度を占めており、次いで「ビニル・合成樹脂・ゴム・皮革類」、「木・竹・わら類」の順に続いている。「不燃物」や「その他」は、全体の7~10%程度であり、可燃物が多い。

(6) ごみ処理経費

項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人口	人	17,306	17,226	17,144	17,066	16,895
ごみ排出量	t/年	5,989	5,889	5,808	5,632	5,511
ゴミ処理経費	千円	584,956	585,827	611,185	554,138	841,989
清掃総務費	千円	117,386	139,572	144,627	146,630	149,104
クリーンセンター費	千円	467,570	446,255	466,558	407,508	692,885
1人当たりごみ処理費用	円/人	33,801	34,008	35,650	32,470	49,837
ごみ排出量1t当たり処理費用	円/t	97,672	99,478	105,232	98,391	152,783